

被害に遭わないために

詐欺の被害に遭わないようにするためには、まず「私は大丈夫」と思うのではなく、「自分も被害に遭ってしまうかも」と考えることが大切です。

その上で、以下のポイントに注目して対策を行うことで、被害のリスクを極めて少なくすることができます。



被害防止のポイント

◎犯人と話をしない

特殊詐欺の被害の多くは、自宅の固定電話に詐欺の犯人が掛けてきた電話に対応したことがきっかけで発生しています。

ナンバーディスプレイや留守番電話機能などを活用し、相手を選んで電話に出るようにすることで、詐欺の被害に遭う危険を大幅に減らすことができます。

留守番電話機能を活用した特殊詐欺被害防止対策

- 1：自宅の固定電話を常に留守番電話に設定
「ただいま防犯対策のため、留守番電話設定にしています」などのメッセージが効果的。
- 2：相手が誰か分かるとき以外は電話に出ない
知らない番号からの電話には、吹き込まれたメッセージを確認してから対応を検討しましょう。
- 3：相手が指定した番号には電話しない
急を告げる内容で、判断に困ったときは、周りの人や相談機関に連絡し、メッセージと一緒に確認するなどして対応を検討しましょう。

◎防犯機器を整える

特殊詐欺の被害防止対策として、通話内容を録音することの警告や通話内容の自動録音機能などを備えた「防犯機能付き電話」に交換したり、電話機に外付けの対策機器を設置することでも有効です。

県内の多くの市町村で、防犯機能付き電話の購入等に対する補助制度が創設されていますので、御自宅や御家族の固定電話機の対策を検討してみてもはいかがでしょうか。

◎最新の情報を収集する

被害に遭わないためには、流行の手口や最新の対策などの情報に関心を持つことが大切です。

特殊詐欺の発生状況や手口の傾向などについて、常に最新の情報を手に入れましょう。

県でもウェブサイトをはじめ、色々な形で情報発信を行っています。是非一度御確認ください。

◎確認は自分が知っている（調べた）番号へ

掛かってきた電話が詐欺かどうか確認するときには、相手が指定した電話番号（連絡先）ではなく、自分が知っている（又は電話帳などで調べた）番号に電話することが大切です。仮に、家族を名乗る者が「電話が変わった」「携帯を借りている」などと言って新しい番号を指定してきた場合は、元の番号に電話して確認してください。

◎だまされた振り作戦に御協力を

警察では、犯人からの電話だと見破った際に、だまされた振りをして、警察に通報していただき、犯人が約束した場所に現れたところを検挙する「だまされた振り作戦」を行っています。積極的に展開することで、捕まりたくない犯人側にプレッシャーを与え、詐欺の被害を減らすことができますので、県民の皆様の積極的な御協力をお願いします。

岡山県 県民生活部 くらし安全安心課 安全安心まちづくり班



〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号
電話(086)226-7259 FAX(086)225-9151
《ウェブページ》<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/22/>
(岡山県)→組織で探す→県民生活部『くらし安全安心課』

